

# (表3) 外来宗教文化に過剰反応、だが消化不良

外来宗教・文化に過剰反応し、宗教論議・宗教闘争の成果なしに、

政治的に宗教改革するのは日本文化の特徴

大和朝廷時代の仏教伝来に八百万多神教(山岳神道)の弱体化

神道・仏教の習合、慈悲の心 cf: 薬師・薬師寺・施療院(寺)、神仏に祈願

江戸時代に儒教流布、封建制度の維持に好都合

神道・仏教・儒教の習合・日本的仏教 cf: 赤ひげ医道・paternalism

江戸末期からの西欧キリスト教文化伝来に廃仏毀釈

明治政府の近代帝国化・国家神道の擁立

天皇(=現人神)と天照大神ら(=現人神のご先祖)に対する信仰 cf: 儒教精神

教育勅語(=現人神への信仰をもとに儒教道徳に近代道徳を加えたものの羅列)

cf: 日本赤十字社・恩賜財団済生会・掖済会

第二次大戦の敗戦によって国家神道も否定(=現人神が人間宣言)

GHQは、国家神道は否定しても宗教(とくにキリスト教)は否定しなかった!?

共産党の伸張は宗教そのものを否定?

過剰反応として医療・教育における霊性・宗教性は禁句!! 宗教的習俗衰退

儒教道徳の追放 社会規範・公德・公序良俗の喪失

祭りは宗教性のないエンターテインメント・イベントとして復活

霊性・宗教性を認めるキリスト教文化・精神消化しきれない